

- ① 配本希望部数をご記入のうえFAXにてご連絡をお願いいたします。
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

帖合・番線 部数 法政大学出版局 **2022年12月23日配本** 定価3080円(本体2800円+税) 四六判並製・416頁
澤田直、岩野卓司 編

はじまりのバタイユ 贈与・共同体・アナキズム ISBN978-4-588-13035-9 C1010

★★ 文学、哲学、宗教学、経済、人類学など多岐にわたる分野で決定的な足跡を残した20世紀の思想家ジョルジュ・バタイユ。その思想の中核に位置する贈与と共同体の主題に焦点を当て、現代における自然と人間の関係、財産、所有、家族などの問題を論じ、さらにはアナキズムの倫理と衝突させることで、来るべきバタイユ像を描き出す。第一線の論者たちによって結晶化した、刺激的な手引き書。【哲学・思想】
☆関連書：バタイユの著作、岩野卓司『贈与論——資本主義を突き抜けるための哲学』（青土社）など。

帖合・番線 部数 法政大学出版局 **2023年1月13日配本** 定価7920円(本体7200円+税) 四六判上製・702頁
アクセル・ホネット 著／水上英徳、大河内泰樹、日暮雅夫、宮本真也 訳 《叢書・ユニベルシタス1153》

自由の権利 ISBN978-4-588-01153-5 C1310

★ 承認論の第一人者で、フランクフルト学派を代表するアクセル・ホネットの名著が満を持して刊行！規範的で抽象なため社会的現実から乖離しかねない従来の「正義論」を批判的に乗り越え、社会分析としての正義論を再創造する。友情、家族、性愛などパーソナルな関係、市場経済における消費と労働、民主的法治国家の形成に関わる政治文化において、個人的な自由はどのように生み出されるのか。【哲学・思想】
☆関連書：ホネット『自由であることの苦しみ』（未來社）、ホネット『承認をめぐる闘争〔増補版〕』（小局刊）。

帖合・番線 部数 法政大学出版局 **2023年1月20日配本** 定価2750円(本体2500円+税) A5判並製・400頁
杉田俊介、櫻井信栄、川口好美、藤原侑貴 編

対抗言論 反ヘイトのための交差路 3号 差別と暴力の批評 ISBN978-4-588-61613-6 C0336

★ 感染症と戦争の危機、蔓延する暴力、宗教とジェンダーの抑圧構造、主権者無視の政治……。社会と文化のますますの貧困化のなかで誰もが疲弊し、傷つき、無力感を強いられる世界。この時代の根本問題を撃ち、私たちの明日を祝福できるための言葉はいま、どこにあるのか？元首相銃撃事件論からハラスメント問題まで、第一線の書き手たちが批評と文学の対抗力を蘇らせる、充実の第3号！【文学・社会批評】
☆関連書：既刊『対抗言論』1号・2号、対抗言論叢書：杉田俊介『神と革命の文芸批評』、川村湊『架橋としての文学』（小局刊）。

期待の新装版!! 部数 法政大学出版局 **2022年12月23日配本** 定価3300円(本体3000円+税) 四六判上製・234頁
エドガール・モラン、アンヌ・ブリジット・ケルン 著／菊地昌実 訳 《叢書・ユニベルシタス422》

祖国地球 〈新装版〉 人類はどこへ向かうのか ISBN978-4-588-14072-3 C1310

生態環境の破壊、人口増大と民族対立、政治の停滞と宗教の無力、科学技術の歯止めなき発展……。いよいよ鮮明になる地球の危機と人類滅びの構図。私たちは真に《地球運命共同体》の意識を共有し、人間性の証しを見出すことができるのか？——いまから29年前に刊行された本書は、現在の《祖国地球》の危機のなかでこそ再読に値する、究極の問いかけを読者に届けてくれる。【哲学・思想】
☆漫画家・文筆家・画家のヤマザキマリさんがさまざまな媒体で推薦して下さっている著作。リクエストに応じて復刊！

期待の新装版!! 部数 法政大学出版局 **2022年12月23日配本** 予価5170円(本体4700円+税) 四六判上製・442頁
エマニュエル・レヴィナス 著／合田正人 監訳／三浦直希 訳 《叢書・ユニベルシタス905》

困難な自由 [増補版・定本全訳] ISBN978-4-588-14074-7 C1310

600万のユダヤ人殲滅という歴史的経験をへて、西洋哲学はなおいかに存続しうるのか？戦後の倫理思想を根底から転回させた〈他者〉の哲学者が、トラーやタルムードなどユダヤの伝統に立ち、スピノザ、ヴェイユ、ローゼンツヴァイクほか一連の重要人物を読み解きつつ、現代においてユダヤ人／知識人であることの意味を模索したもう一つの名著。1976年版の定本に依拠した初の完訳、ついに刊行。【哲学・思想】
☆関連書：『レヴィナス読本』、『レヴィナス著作集1・2・3』（小局刊）。

大好評につき 重版2刷!! 部数 法政大学出版局 **2022年12月重版出来** 定価5500円(本体5000円+税) A5判上製・406頁
江川隆男 著

スピノザ『エチカ』講義 批判と創造の思考のために ISBN978-4-588-15098-2 C1010

誰もが知る『エチカ』は、その重要さと同じくらい難解さでも知られている。本書は、全五部のうち、多くの人が躓いてきた第一部と第二部をあとにまわし、第三部の経験論的な場面から出発することで、この稀代の書の読破を実現する。そこに立ち現れるのは、過去に蔵された古典作品である以上に、現代に生きる人々が生きる上での指針の書の姿にほかならない。強い推進力で一気に読ませる著者待望のスピノザ論！【哲学・思想】
☆関連書：岩波書店より『スピノザ全集』が刊行予定。

ご担当者様 氏名： [] 担当ジャンル： [] TEL： []

* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。